

授業は1年分先取りで進むため、高校3年生になってから他の高校に比べて余裕があります。時間がある分、単元を繰り返し学習することができ、自分の弱点が自然と分かります。そのため効率の良い勉強方法が当たり前に行う授業の中で身につくと思います。また、習熟度別でクラスが分かれている教科があるため、自分のレベルにあった授業を受け理解を深められます。課外は選択制であり、教科・種類が豊富であるため、自分に必要なものだけ選択することができます。課外に行けば自分も周りも勉強する環境になるので、家で勉強するのが苦手な人や自分で上手く学習計画を立てられない人にとっては打って付けの場であると思います。課外で実力問題を解くための思考・知識が養われ、実際に模試などに活きました。茨中・茨高は模試を多く実施します。面倒臭いと思うこともありましたが、今思うと早い時点で大学受験という大きな関門を意識することができ、自分の力試しになる良い機会だったと思います。テストを受けて終わりではなく、二者面談や三者面談を数回行い、先生方が目標大学のラインと今の自分の実力はどのくらい離れているか、どのような学習をすべきなのか、また自分の進路と似たような先輩方はどのような道を通ってきたのかななどを詳しく教えて下さるため、モチベーションを保って勉強することができると思います。普段の授業では熱心な先生が多いため、単にその単元について学ぶのではなく、一歩進んだ知識まで学習でき、刺激のある毎日過ごすことができます。また教科が分けられているため、テストの教科は多くなりますが様々な単元をまんべんなく学習することができます。

私は、中学・高校どちらも水泳部に所属し、飛び込み競技をしてきました。学校の部活動とは異なる場所で練習していましたが、顧問の先生をはじめとたくさんの方々にサポートしていただきながら文武両道を目指しました。2019年の茨城国体では、飛板飛び込みで第2位になり、一生忘れることのない経験となりました。中学校では体育祭が印象深いです。体育祭は4色対抗であり、3年間同じ色で戦うため、年々団結力が高まっていきます。学年ごとにこなす仕事は違いますが、その過程にある笑いや涙が自分たちを成長させてくれたと思います。高校では研修旅行が印象深いです。私はカナダに行きました。1週間弱でなかなか英語が急激に上達するとはいえませんが、異文化に触れたり非言語のコミュニケーションを楽しんだり、日本にいただけでは味わえないものを現地で体験することができたのは人生において非常に良い刺激になりました。また、自分の考えを相手により流暢に伝えたいと思い、英語の学習意欲が向上しました。

茨中・茨高の良いところは2つあります。まず1つ目は、学習環境が整っているという点です。勉強するスペースが教室・自習室・図書館など、逆にどこでやろうか迷ってしまうほどあります。そして、先生方が空いている時にはいつでも質問に答えてくださるため、学校で集中して勉強できると思います。塾や予備校に行く必要がなく、無駄なお金や移動時間がかかりません。また、周りの生徒の志が高いため、自分の学習意欲が高まるという利点もあります。2つ目は、学校行事が多い点です。体育祭・文化祭・遠足・研修旅行・クラスマッチ・水泳大会・マラソン大会など勉強以外の活動も充実しています。ON・OFFの切り替えや仲間達と創り上げるものの素晴らしさなどを学ぶ機会が多く、楽しい学校生活を送ることができると思います。大学進学後は、スポーツ学を学びながら飛び込み競技を続けていきたいと考えています。大学での学びを論理的に競技に繋げられるようにするために、効率的かつ合理的な大学生活を送りたいです。また、大学に通えることに感謝し日々過ごしていきたいです。将来の夢はまだ決まっていないため、大学の学びを通して今後決めていきたいと考えています。そして、どういう形であれ、誰かに貢献できるような大きな人になっていきたいです。